

まー」と会便り

2017/10

行事予定



十月十八日

まー」と会 急仏奉仕

午後一時半より三時まで

十月二十五日（水）午後一時半より
秋季永代経法要

*申込不要・どなたでも「参加」だけできます

講師 桑門真昭師
中区大手町 常念寺
真宗大谷派擬講

十月二十日 ヨガの会

十一月十四日 光圓寺 報恩講

一十五日 秋季永代経法要

講師 桑門真昭師

三年ぶりにご登壇いただきます。
豊かな知識と教養を基に真宗のみならず
仏教全般にわたる味わい深いお話しが楽し
みです。

みなさまいかがお過ごしでしょうか。
今年の夏も、またより一層暑さが厳しく
お身体にこたえた方も多いことと思いま
す。お彼岸を迎えると一転涼しくなり、気
温の変化の激しさにこれまで身体の調節
がついていきません。

お彼岸に山口在住のご門徒さんがお墓
参りに来られました。お話しされるのに、
「お寺にお参りに来るのに四週間かかり
ました」とおっしゃいました。最初の日曜
日は高速道路で事故が起こって封鎖され
てしまつた。次とその次の日曜日は自分の
車が動かなくなつて修理していく動けな
かつた。その次はちょうど台風が来てしま
つた。予定より四週間遅れてやつとお参り
でき、夏に来る予定が秋になつてしまいま
した、と笑つておられました。普段何も起
こらないときであれば、片道二時間も起
れば車で十分行き来できる距離です。行こう
行こうと思ひながら、いろいろなことが起
こつてなかなかお参りできなかつた分、思
いもひとしおのご様子で、喜んでお参りに
なりました。

日頃は気づかないけれども、何も起ころ
ないことがありがたいことなのだと気づ
かせていただきました。

光圓寺 報恩講・秋季永代経法要

十月二十四日（火）あさ 午前九時半より

ひる 午後一時半より

報恩講
(十二時よりお齋)

みなさまお誘い合わせの上
ご参加下さいませ

二年ぶりのまー」と会親睦旅行です
今年は打越地区の方々が中心となつて
お接待してくださいます。
よろしくお願ひいたします。

坊主「」ぼれ話 —— 地獄絵

先日、テレビの美術探訪番組で地獄絵を特集していました。

浄土真宗では、阿弥陀如来さまが余さず探し取つて浄土へ生まれさせて下さるとお聞かせいただいて、地獄絵はあまり見る機会がなく、珍しくて興味深く拝見しました。地獄が八層に分かれたり、生前の行いとその行き先が決まる裁判があつたり、そしてその裁判と法事などの仏事が繋がつているところなど、あまりの詳しさに感心しました。ほとんどの人はみんな一旦地獄に落ちそうですね。

三年前の報恩講の「法話」で、桑門講師は「地獄・極楽は凡夫の持ち物」とお話になりました。仏教の祖であるお釈迦様の「説法」には、地獄はどうでも出てしまふ。お釈迦様は浄土の素晴らしさを説き、そこへ生まれるために生き方を説かれました。インドで生まれたその教えが、中国に渡り、日本へ伝わってから「」までの長い時間の中で、それぞれの土地の宗教や時代の信仰を受け、地獄の発想が付随しました。隣の誰かよりも真面目に生きている自分がより良くなりたいと思つのが凡夫です。その心から地獄が生み出されました。

地獄絵を、凡夫である私の心の歪みが表現されたものだとするならば、「これほどまでか……と思わずにはいられません。

※【地獄絵ワンドーランダ】放映されていた地獄展は、京都西本願寺正面の龍谷ミュージアムにて十一月十二日まで開催中！

光圓寺 報恩講参りのお知らせ

例年通りに、各家庭への報恩講参りを左記の日程で参ります。今後変更の可能性もございますので、各家庭へのお知らせにて、再度ご確認ください。

よろしくお願ひします。

十一月 六日	楠那・日宇那地区
十一月 十七日	皆実町地区
十一月 二十一・二十二日	己斐地区
十一月 二十四日	宇品地区
十一月 二十七日	南観音中・西地区
十一月 二十八日	南観音東地区
十一月 八・九・十日	丹那地区
十一月 十一日	本浦地区
十一月 十五・十六日	大河地区
十一月 十八・十九日	打越地区
十一月 二十日	吉島地区

新しくお参りをご希望の方はお寺までお問い合わせください。

他の地区でもお参り致します。☎ (082) 231-3400